

校報

國學院大學
栃木中学高等学校
〒328-8588
栃木市平井町608
☎(0282) 225511
校報編集部

〈6月の行事予定〉

- | | |
|------|--------------------------|
| 1日 | 全校朝礼 生徒総会(高) |
| | 美化の日 夏服着用(中・高) |
| 2日 | 芸術鑑賞(高3年) |
| | 全校朝礼(中) |
| 3日 | 検尿 |
| 4日 | ベネッセ共通テスト模試
(NSTA高3年) |
| 8日 | 芸術鑑賞(高2年) |
| 8~9日 | 第1回校内模試(高3年) |
| 10日 | 父母会・国大見学会(高) |
| 11日 | GTEC(高) |
| | 一日体験学習(中) |
| 15日 | 第1回進路希望調査(高) |
| 17日 | 第1回漢字検定(高) |
| 18日 | 大学出張講義(高2・3年) |
| | キャリア教育(高1年) |
| | 数学検定(高) |
| 20日 | 職員研修(授業公開、授業研究) |
| 23日 | 芸術鑑賞(中) |
| 24日 | 佐々木周二先生生誕の日 |
| 25日 | サイエンスセミナー(中) |

自分の力で

感動を手にしよう！



教務部長
土田 十

小学生の頃の思い出

いま、私の手元には「〇小学校 6年1組 学級通信」がある。小学生の頃、毎日発行された学級通信である。当時の担任は、スポーツ万能、元氣瀧刺の中学教員であり、小学生だった私たちを大変熱心に指導してくれた。毎日の発行は大変な努力だったと思うが、卒業から40年経ったいま、改めて学級通信を読み直すと、気が付くことも多いもので、先生には感謝している。小学校卒業時に手作りで製本したもので、紙はすでに変色し、印刷もかすんでし

まあって読めない箇所も散見されるが、最後のページに書き記してあった言葉が印象的であったので紹介しよう。「他のクラスではやらないようなことをやる」この言葉がいつしかみんなの合言葉になっていったね。そして卒業式の日もそのことをやってしまった。く中略く「他のクラスではやらないことをやる」それを最後に自分達の手でやった。『自分達の手でやった』ということが一番重要なんだ。そのことをいつまでも忘れないで！(3月22日 春休み特別号)

かこの学級通信だけは、ほぼ毎日保管していた。そのため、製本すると厚さ3.5cmの分厚い学級通信となつて、いまも私の手元に残っている。「自分達の手でやった」とは、卒業式の日のことである。「別れの会」を企画し保護者と共に感謝の気持ちを伝えた、ということだ。担任に知られないようにに内密に準備を進め、当日、千羽鶴と感謝状のプレゼントを渡した。涙を堪えていた先生の姿が印象的であり、保護者も生徒も皆、感極まって、何とも言えないあたたかい空気を共有することができた。貴重な感動体験であった。

新学習指導要領実施

高等学校の教育は令和4年度新入生から大きな転換期となる。10年に一度行われる学習指導要領の改定である。令和3年度は本校のICT教育元年であり、iPadも導入された。今年度は1、2学年がiPadも常に研鑽を積むことが必要で、様々な授業のあり方を日々研究開発している。令和4年度第1学年は新教育課程のもとで教育活動が行われる。「何がでるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という3つの視点を意識した教育活動である。

「何がでるようになるか」については「資質・能力の三つの柱」に整理され、指導の充実をねらいとして観点別学習状況の評価が導入される。「何を学ぶか」については教科・科目の再編成がなされている。特に、国語と地歴・公民については科目構成が大きく変化し、「探究」の視点を重視したものとなっている。また、英語については四技能の育成など、多様な対応が迫られている。本校では、新たな教材を導入したり、外国人講師の支援のもと、国際社会に対応できるような指導を模索している。英検やGTECなど外部検定試験の受検も推奨し、対策のための指導も充実させている。さらに、2022年1月には国立大学協会より、2025年度以降の国立大学一般選抜受験者は原則として共通テストにおいて「情報I」が課されることが発表された。本校では第2学年で履修予定であるが、各大学で課される教科・科目が不明瞭なので、今後の発表を注視しなければならぬ状況である。「どのように学ぶか」については、生徒の主体性を引き出すような授業を実践し、主体的・対話的で深い学びを実現するべく授業研究に努めていかねばならない。見えにくい部分であるが、自己肯定感の育成とともに考えていかねばならない大きな課題である。

新しい教育とは

本校のホームページを見ると、國學院栃木の教育の4つの柱として「学力向上」「感動体験」「キャリア教育」「国際理解」が掲載されている。どれも大切なことで、本校が力点を置いている教育活動である。多くの生徒が集う本校では、毎日の学校生活では様々なことが起こるものだ。そのような中でどのような「感動体験」が得られるのか、十人十色であろう。一つ言えることは、感動を得るためには、自分で考え、自分で行動することが必要だということである。キーワードは「主体性」である。勉強でも部活動でもホームルーム活動でも、結局、「自分達でやったこと」には目に見えない価値が付加され、感動を呼ぶのである。一人では困難なことも仲間と協力すれば何かが生まれるかもしれない。先に登場した担任の先生は、最終的には校長先生となり、子どもたちの教育に尽力し、いまは定年退職されている。日々の慌ただしさのため失念していたが、「自分(達)の手でやること」の大切さを思い出させてくれた先生に感謝するとともに、新しい教育の意味や目指すべき方向性のようなものを感じた。それは教育の根幹に通じる、新しい教育の中においても変わらない「感動」なのだと思う。本校の教育活動の中には様々な感動体験の可能性がある。ここ太平台で学ぶ生徒の皆さんには、各自が主体的に学び、多くの感動を体験することを期待している。

全校朝礼講話(要旨) ことばに宿る力を信じて

高等学校長 青木一男

4月27日に栃木市立文学館が開館になり行ってみました。開館を記念して栃木市出身である3人の作家の特別展がありました。それは作家吉屋信子と栃木市生まれの詩人柴田トヨ、作家山本有三です。

まず柴田トヨに関してですが、2010年、99歳の時に詩集『くじけないで』を出版し、新聞やテレビで反響を呼び、世界数カ国で翻訳され、詩集としては異例のベストセラーとなりました。戦争や関東大震災を経験し、必死に生きてきた過去、現在、そして自身の老いを見つめ、何気ないありふれた言葉で、素直にそ

の心情を綴っています。例えば、タイトルになっている『くじけないで』の一節にはこうあります。「ねえ不幸だなんて 溜息つかないで 陽射しやそよ風は えこひいきしない 夢は平等に見られるのよ 私 辛いことがあつたけれど 生きていてよかった あなともくじけずに、99年の人生から出た言葉です。どのようなことがあつても常に前向きに生きていこうという姿勢と全ての人々、物事に対する優しさがあふれているこの詩は、2011年東日本大震災で被災した人々を勇気づける言葉としても注目されました。

次に山本有三は、小説家、劇作家、そして政治家でもありましたが、何と言つても有名なのは、代表作『路傍の石』にある台詞です。その言葉を記した石碑が栃木駅北口と太平山にありま

話の中心よりもこの言葉、たけがずっと心に残っています。私の60年以上に渡る人生において、どこか心の拠り所にしてきたのかもしれない。ところで、ここ数年、SNSに誹謗・中傷が書き込まれ、大きな社会問題となつていきます。残念なことにそれが原因となるいじめ問題も起きています。このように言葉で人は傷つくことがあります。しかし、言葉によつて励まされたり救われたり、時には人生を大きく変える場合もあります。

た。それを観た遠方の親戚、友人知人から、多くの電話やメールが来しました。彼らの共通していた言葉は、「大丈夫？」でした。実際に私の自宅も被害は受けており、その一言に心が救われ、元気が出たものです。心配な気持ちや言葉を直接伝えてくれたことは、しっかりと私の心に届き、何よりも有り難く感じました。

教務日誌抄 (高校)	
2日(月)	校内整備日
6日(金)	美化の日
7日(土)	3年全統共通テスト模試
10日(火)	眼科検診
12日(木)	3年内科検診
13日(金)	小論文模試
14日(土)	進路講演会
17日(火)	父母懇談会
18日(水)	中間試験一部実施
20日(金)	中間試験
23日(月)	1年情報モラル講演会
24日(火)	教育実習開始
25日(水)	3年内科検診
28日(土)	校内競技大会
31日(火)	第1回英検1次検尿・眼科検診

1・2学年 探究学習ガイダンス 次世代に向け 学びを深める

4月27日(水) 生徒会館大ホールにおいて令和4年度1・2年生探究学習ガイダンスが行われた。新型コロナウイルス対策として密集を避けるために、会場にはN1の1の生徒が代表で集い、ガイダンスの模様は1・2学年全ク

ラスに配信された。まず昨年度の探究学習の成果として3年生の2班が『筋肉量と脚力』『渡良瀬遊水池の水質・生物調査』の演題で発表を行った。その後、探究学習運営委員会の北川教諭によるこれまでの探究学習の取り組みについての総括と、今後の見通しについての説明があり、最後に西沢教諭より、探究学習を校内での取り組みで終わらせるのではなく、



昨年度の活動報告を視聴

積極的に外部へ探究の成果を発表していくための具体的な取り組みについて説明があった。

新入生歓迎公演

各部活動では、新入生歓迎公演を以下のようにそれぞれの場所で行った。
▽4月16日(土)、ミュージカル部は第二音楽室において圧巻の歌と踊りを繰り広げた。▽4月21日(木)、応援部は下校時間に合わせてバス停留所近辺で練習を公開し、一体感のあるパフォーマンスで新入生の目を引

いていた。▽4月22日(金)、吹奏楽部は第一音楽室でミニコンサートを開催し、4曲を熱演した。▽4月25日(月)、箏曲部は本館前で演奏会を催し、美しく雅な調べを披露した。▽4月28日(木)、天文部は理科講義室でプラネタリウムを公開し、天体研究の楽しさを語った。▽5月10日(火)、化学部は化学室で実験参加会を開き、新入生に各種実験の手順を公開した。



吹奏楽部
合奏の楽しさを披露

●各コースは、次の記号で表示されます。

中高一貫コース	N
特別選抜Sコース	S
特別選抜コース	T
選抜コース	A
文理コース	B

栃木県高等学校総合体育大会

関東大会出場へ

なぎなた

4月29日(金)、本校なぎなた場。

個人試合は、坪山遥音選手が優勝した。坪山選手は、「練習した踏込み面で1本を決めることができた。関東大会までにさらに技術を向上させたい」と話した。

個人試合と演技は次の上位入賞者が、また団体試合で6月4日(土)から埼玉県立武道館で開催される関東大会に出場する。

▽個人試合(リーグ戦)

優勝 坪山 遥音(N1年)
2位 石田 煌香(A2年)
5位 田村 彩奈(S2年)
6位 大江 折菜(T2年)



演技 石田・坪山組(奥)
石井・田村組(手前)

▽演技(リーグ戦)

優勝 石田・坪山組
2位 石井万智(B3年)
田村 組
3位 大石麻琴(A3年)
大江 組

柔道

5月1日(日)、ユウケイ武道館。

団体戦のみ実施され、男子は、決勝戦で白鷗大学足利高校と対戦し、0対2で敗れ準優勝となった。女子は、足利大学附属高校と対戦し、0対1で敗れ準優勝となった。この結果、男女ともに6月3日(金)から成田市中台運動公園体育館(千葉県)で開催される関東大会に出場する。

体操競技

5月2日(月)～5月3日(火)、日環アリーナ栃木。

種目別に出場し、段違い平行棒で優勝した平澤萌選手(B3年)は、「自分ができることを関東大会で発揮できるように日々の練習を頑張りたい」と話した。なお、今大会の結果で国民体



優勝した平澤選手
(段違い平行棒)

育大会への出場も決めている。

次の上位入賞選手が、6月4日(土)から日環アリーナ栃木で開催される関東大会へ出場する。

▽種目別

《段違い平行棒》

優勝 平澤 萌 12・00
2位 新井楓花(B3年) 11・35
▽個人総合
3位 平澤 萌 46・55

ラグビー

4月30日(土)、5月7日(土)、栃木市総合運動公園陸上競技場ほか。

決勝戦は、佐野日大高校と対戦し、17トライを挙げ3連覇を果たした。



トライを決める
叶内琢実選手(B2年)

ハンドボール

この結果、6月3日(金)から富士北麓公園陸上競技場・球技場(山梨県)で開催される関東大会へ出場する。

▽決勝 優勝

本校 109 68
41 0
0 0
0 佐野日大

5月6日(金)～8日(日)、日立栃木体育館ほか。

決勝戦は小山西高校と対戦し、23年連続の優勝を決めた。この結果、6月3日(金)から神奈川県立スポーツセンターハイ予選を兼ねる



山口十瑠選手(S1年)
のシュート

ツェンターで開催される関東大会に出場する。

▽男子決勝 優勝

本校 29 14
15 11
9 20 小山西

陸上競技

5月12日(木)～15日(日)、カンセキスタジアムとちぎ。

次の選手が上位入賞を果たし、6月17日(金)からカンセキスタジアムとちぎで開催される北関東大会(イ

ンターハイ予選を兼ねる)に出場する。

▽女子

100m 3位(12秒61)
長原 叶和(B3年)
400m 5位(59秒46)
黒川 心羽(B3年)
1500m 3位(4分49秒)
大嶋妃奈乃(B2年)



大嶋選手と青木選手(B3年)
女子1500m決勝

囲碁将棋部

全国高校囲碁選手権大会栃木予選
女子個人の部 優勝

5月7日(土)、栃木県教育会館小ホール。

黒川智美さん(S1年)が県予選会に参加し、個人戦で優勝した。この結果、

8月1日(月)から開催される第46回全国高等学校総合文化祭囲碁部門と、8月3日(水)から開



囲碁を打つ
黒川さん

催される第46回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会出場を決めた。

黒川さんは、「決勝トーナメント進出を目標に、全力を尽くして挑みたい」と意気込みを話した。

バレーボール

5月4日(水)、9日(月)、15日(日)、日環アリーナ栃木ほか。

決勝戦は文星女子高と対戦したが、一歩及ばず優勝を逃し準優勝となった。

この結果、6月4日(土)から東京体育館で開催される関東大会に出場する。

▽決勝 準優勝

本校 0 20
25 25
27 25 2文星女子

3000m 6位(10分29秒69)
一場 咲那(B3年)
4×100mリレー
5位(50秒92)
仲山 端珠(B3年)・
稲葉 咲乃(T2年)・
黒川 心羽・大塚 唯加(T2年)

入試関連情報コーナー



Come on in 国学院

第1回 7/24(日)
第2回 7/30(土)
第3回 7/31(日)

中高
合同実施

9:00~10:05 オープニングセレモニー
学校紹介・部活動紹介
10:40~12:30 講座・校内見学
※部活動の見学は随時(10:40~12:30)

未来を拓く FOR YOUR FUTURE

高等学校

国栃チャレンジ
学力診断テスト

10/23(日)
3教科及び5教科
《中学3年生対象》

受験料
無料

特別選抜Sコース
特別選抜コース
選抜コース
文理コース

普通
科

入試説明会・個別相談会

第1回 9/23(金祝)
第2回 10/15(土)

第3回 11/5(土)
第4回 11/13(日)

第5回 11/23(水祝)
第6回 12/3(土)
第7回 12/11(日)

会場:本校キャンパス(第6・7回は栃木駅前教育センター)

時間: 9:30~ 説明・校内見学・個別相談(第2回と第3回は14:00~)

國學院大學栃木中学校・高等学校 令和四年度地区別学校説明会・個人相談会
＜中学・高校 同時開催＞ 18:30開始

開催日	会場		開催日	会場	
6月	8 水	足利市 足利市民プラザ 西館	6月	17 金	結城市 結城市民情報センター
		越谷町 越谷コミュニティセンター			久喜市 久喜総合文化会館
	9 木	壬生町 壬生町中央公民館		21 火	佐野市 佐野市文化会館
		加須市 市民プラザかぞ			春日部市 春日部市民文化会館
	10 金	小山市 小山市立生涯学習センターロブレ 6F		22 水	鹿沼市 鹿沼市民文化センター
		古河市 スペースU古河			板倉町 板倉町中央公民館
	14 火	宇都宮市 宇都宮市文化会館		23 木	筑西市 しもだて地域交流センター アルテリオ
		杉戸町 彩の国いきいきセンター すぎとピア			幸手市 幸手市民文化体育館 アスカル幸手
	15 水	野木町 野木町文化会館 エニスホール		24 金	総和町 ネーブルパーク 平成館
		羽生市 ワークヒルズ羽生			久喜市 栗橋文化会館 イリス
	16 木	下野市 グリーンタウンコミュニティセンター		25 土	栃木市 國學院大學栃木学園 教育センター
		白岡市 白岡市コミュニティセンター			

KOKU TOCHI

 KOKUGAKUIN UNIVERSITY
TOCHIGI JR. HIGH SCHOOL

Challenge!

中 学 校

一日体験学習会

6/11(土)
会場:本校キャンパス 9:30~12:00

(受付:本校図書館大会議室 8:30~9:30)

開催講座

	1 限目 10:00~10:30	2 限目 10:40~11:10	3 限目 11:20~11:50
英語	Let's go to the zoo! ネイティブの先生の楽しいレッスン		
国語	漢字でビンゴ ゲーム感覚で漢字をおぼえよう		
算数	新たな発想の世界 思考の迷路から脱出しよう		
社会	むかしむかしの地球って? 古代人の考えた古い地図より		
その他	保護者対象学校案内		

※理科については6/25(土)の「サイエンスセミナー」で実施します。

 「一日体験学習の様子」
「Christmas!」より
(過年度)


入試説明会・個別相談会

第1回 7/9(土)
 第2回 8/21(日)
 第3回 9/3(土)
 第4回 9/23(金祝)
 第5回 10/8(土)
 第6回 10/29(土)
 第7回 11/5(土)

会場:本校キャンパス 10:00~
説明・校内見学・個別相談

 ※第6回は場所は学園教育センターで14:00開始です。
 ※第7回は個別相談のみとなります。

サイエンスセミナー

6/25(土)
会場:本校キャンパス 10:00~12:00
(受付:本校図書館大会議室 9:30~10:00)

※6/19(日)までにインターネットでお申し込みください。

下記の講座から一講座選んで下さい。


 サイエンスセミナーの様子
「岩石から化石を
見つけよう」より
(昨年度)

開講講座 (定員各10組)

講座No	講 座 名
①	古代のセッケンを作ろう ~古代のローマの化学を体験してみよう~
②	ボンボン船を作ろう ~空気を温めて船を動かしてみよう~
③	食品を化学しよう ~食べ物を使って化学反応を見てみよう~
④	化石を発掘しよう ~栃木県の地層から古生物を取り出そう~

お問い合わせ・各種お申し込み

☎328-8588

栃木県栃木市平井町608番地

Tel 0282(25)5020(入試広報室)

Fax 0282(25)0441

<https://kokugakuintochigi.jp>


学校行事で輝く中学生

● 新学期が始まって2か月が経ち、今年度初めての中間試験も無事に終えた。学校では生徒会や部活動も本格的に始動し、生徒たちは自らの力で学校生活を充実させようと日々努力している。今回は生徒総会や授業参観の様子を掲載し、生徒たちの様子をお伝えする。



全校朝礼



生徒たちに語りかける青木学校長

5月6日(金)大ホールにて全校朝礼が行われた。講話の中で、青木一男学校長は、教育学者の森信三先生が職場再建の3原則として提唱された「時を守り、場を清め、礼を正す」について語った。言葉の意味として、時間や期限を守る、清掃や整理整頓、挨拶や返事をする、ことを指し、将来に向け、身につけるべきことと語った。

安全で正しい通信機器の使用を



スマートフォン・タブレットの使用方法について学ぶ生徒たち

4月15日(金)5限に、全学年を対象に、「NTTドコモ スマホ・ケータイ安全教室」の映像を使い、各教室で担任より携帯電話、スマートフォンの使用につ

けてほしい行動規範である。全ての人が気持ち良く学校生活を送るために、実行をしようという話した。また、4月28日(木)に行われた生徒総会で、発表された今年度のスローガン「輝く努力で歴史を築け 國栃中」について、「輝き、努力をして、明るい挨拶生活にしていきたいと思います。非常に良いキャッチフレーズとなったことを踏まえ、生徒会役員が学校をよくしようと企画していた様子が生徒総会で何うことができた大変良かった」と話した。

現在の指導が行われた。現在ほとんどの生徒たちがスマートフォンを携帯し、ツイッターやラインといったSNSを利用している。そうしたアイテムは一面便利で、防災対策や地震や台風などの災害時にも大きな効果があると思われるが、反面、使い方を誤ると事件に巻き込まれたり、知らない間に犯罪に加担してしまっているケースが起きているという。そういった生徒たちのスマートフォンやタブレットの利用に関連した危険やトラブルを未然

生徒会の活動を報告



部活動紹介

4月28日(木)5・6時限目に、四十周年記念館にて生徒総会が行われた。生徒会による司会進行の下、生徒会長の高久紫音さんより、「私たちと一緒に盛り上げていきたいと思います」と挨拶があり、今期のスローガン「輝く努力で歴史を築け 國栃中」が発表された。また、各役員についての説明や本

授業参観開催



保護者来校の授業参観に緊張する生徒たち

5月7日(土)1・2時限目に授業参観、その後懇談会・父母会総会が実施された。昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3年ぶりに学校に保護者を招いての実施となった。教科は国語・数学・社会・理科・英語・美術を実施し、どの教科も趣向を凝らした授業を展開した。来校した多くの父母は、興味深い様子で授業を参観し、生き生きと学習に取り組む生徒の様子を目の当たりにした。

部役員が現在取り組んでいる「挨拶運動」、「エコキャップ回収運動」、「ベルマーク運動」の活動が報告された。その後、1年生を歓迎する気持ちを込めて、学校行事や部活動の紹介を2・3年生が行った。各部で趣向を凝らし、見応えのある時間となった。また、コロナ禍でも前向きに学校生活を送る生徒たちの姿がうかがわれた。

教務日誌抄(中学)



父母会総会の様子

続いて行われた懇談会では、生徒たちの近況や父母への要望、また、学力と学習の今後に向けての展望が担任より話された。続いて、生徒会館大ホールにおいて父母会総会が開催された。会では令和3年度事業報告、決済報告がなされた後、令和4年度事業案、予算案が提示され、承認を得た。その後、令和4年度の新役員が承認され、新たに選任された役員の挨拶があり、会は終了した。

6日(金) 全校朝礼
美化の日
7日(土) 授業参観・懇談会・父母会総会
18日(水) 中間試験
20日(金) 避難訓練
23日(月) 教育実習開始
27日(金) 自然体験学習
31日(火) 検尿